

平成 27 年度

平成 28 年 3 月 14 日 第 13 号



与野八幡小だより

学校教育目標

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

「夢と希望と感動をはぐくみ、子どもが輝く学校」 児童数 798 名

web アドレス <http://yonohachiman-e.saitama-city.ed.jp>

E-mail yonohachiman-e@saitama-city.ed.jp

TEL 048-854-5561 FAX 048-854-5560 所在地 〒338-0003 中央区本町東5丁目23番14号

平成 27 年度学校評価結果について

校長 金 銅 孝

本年度の「学校評価」の結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

「学校評価」の目的の一つに、評価結果を公表することにより家庭・地域から教育活動や学校運営に対する理解と協力を得て信頼される学校づくりを推進することがあります。今回の評価結果を受け、高い評価をいただいた項目について、一層の指導の充実を図り、残された課題につきましましては引き続き改善・充実に努めて参りたいと考えております。

結びに、学校関係者評価委員会委員長 吉野喜八 様をはじめ委員の皆様、またご多用の中、アンケートへご協力いただきました保護者、地域の皆様に心よりお礼を申し上げます。今後も本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校自己評価について

1 学校の教育活動について

本校の教育目標は、「自ら学ぶ子、思いやりのある子、たくましい子」である。平成 27 年度も、目指す学校像を引き続き「夢と希望と感動をはぐくみ、子どもが輝く学校」とした。そして、今年度も努力点を 8 つ設定し、1 年間取り組んできた。今年度の努力点は、①学校教育目標の具現化を図る魅力ある学年・学級経営の推進 ②学ぶことの楽しさやできた喜びを実感させる学習指導の充実（「自ら学ぶ子」の具現化） ③豊かな心をはぐくむ教育と指導体制の充実（「思いやりのある子」の具現化） ④豊かなかかわり合いをはぐくむ教育の充実 ⑤体力向上・健康教育の充実（「たくましい子」の具現化） ⑥安全・安心で潤いのある教育環境づくり ⑦保護者・地域との連携を深め、開かれた学校づくりの一層の推進 ⑧校内研修の充実と基礎体力と機動力のある組織の 8 点である。

今年度は、地域・保護者の皆様からこれら努力点 8 項目中 7 項目で高い評価をいただいた。保護者アンケートでは 24 の評価項目中「そう思う」「まあまあそう思う」の割合が 90% を超えたものが 21 項目で、その割合が 95% を超えたものも 14 項目となった。ここ数年の課題である「あいさつ」については、昨年度の 90.1% から 90.0% と微減であったが、児童アンケートでは、「そう思う」「まあまあそう思う」が昨年度より減少しており、今後の取り組みに改善が必要である。さらに、他の項目に比べると評価がやや低かった学習指導に関する項目についても指導法や指導形態についてさらに改善・充実に取り組んでいく必要がある。

2 教職員及び児童（生徒）、保護者等による評価結果

(1) 達成することができた項目

- ①学校教育目標の具現化を図る魅力ある学年・学級経営の推進
- ③豊かな心をはぐくむ教育と指導体制の充実（「思いやりのある子」の具現化）
- ④豊かなかかわり合いをはぐくむ教育の充実
- ⑤体力向上・健康教育の充実（「たくましい子」の具現化）
- ⑥安全・安心で潤いのある教育環境づくり
- ⑦保護者・地域との連携を深め、開かれた学校づくりの一層の推進
- ⑧校内研修の充実と基礎体力と機動力のある組織

(2) 達成することができなかった項目

- ②学ぶことの楽しさやできた喜びを実感させる学習指導の充実

※あいさつについては、児童および教職員の評価では達成できていない。また、保護者の評価でも、記述評価によると達成しているとは言い難い。

3 次年度に向けた具体的な改善策

- 日々の学習指導の改善と充実
 - ・単元導入部分、問題提示方法の工夫・改善
 - ・グループ学習や発表活動など、学び合う学習、伝え合う学習の一層の充実
 - ・学習内容の明確化と見届け、評価の徹底
 - ・少人数指導、小集団指導、チームティーチングなど指導形態の工夫、改善
 - ・個に応じた指導にかかるとの取り組みの保護者・地域への積極的な情報発信
 - ・授業参観での少人数指導やチームティーチングの実施
- 「あいさつ運動」の継続指導
 - ・あいさつ標語をクラスごとに作成し掲示する。
 - ・各クラスごとの取り組みを実施し、あいさつ実践事例集を作成する。
 - ・あいさつ強化月間を設定し、あいさつ振り返りシートを活用した家庭と連携した取り組みを推進する。
 - ・家庭でのチェックシート等を作成し、家庭への協力要請を推進する。

学校関係者評価について（学校関係者評価委員長 吉野喜八）

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 5名
- | | | | | | |
|----------|-----|------------|-----|--------------------|-----|
| P T A 会長 | 1 名 | 民生委員 | 1 名 | 主任児童委員（前 P T A 会長） | 1 名 |
| 児童館館長 | 1 名 | 後援会会長兼自治会長 | 1 名 | | |
- (2) 実施回数
委員会 2 回
(第 1 回：平成 2 7 年 6 月 2 9 日（月）、第 2 回：平成 2 8 年 2 月 1 6 日（火）)
授業参加 学校公開、校内音楽会、研究発表会等
学校評価集計（児童、保護者・地域、教職員） 学校自己評価書＜参考＞

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- ①学校評価の参考となるアンケートが、平成 2 6 年度より、地域・保護者、教職員と共通となったことで評価の視点が定まり、また、グラフの色分けが出来て見易くなり、経年変化をとらえやすくなった。
- ②保護者アンケートからは、あいさつへの取り組みを評価する声がある一方で、登下校時のあいさつの声が小さい、全体的にあいさつをする子どもが少ないとの声もあった。教職員からは、家庭での指導もお願いしたいとの声もある。特に悪くはないが最も目につきやすい項目で毎回意見が出る。評価委員からは、あいさつは、長い取り組みが必要で家庭との協力も必要との意見。背景には、家庭環境の変化であいさつの機会が減っているのではと考えられる。
- ③質問項目 8 の「コンピュータ、大型テレビ・・・」では、教職員の評価 1 0 0 % に対して、保護者の評価は 8 8 . 4 % となっている。子どもたちの興味を高めているという評価の意見と、I C T 機器を活用した授業を見せてほしいとの意見があり、授業で活用しているほどには、保護者に伝わっていないのでは。
- ④質問項目 9 の「学校では、一人ひとりの・・・」では、保護者の評価は 7 9 . 3 % 。教職員の評価でも 8 8 . 5 % とともに低かった。そのなかで保護者アンケートでは、「わからない」1 2 . 5 % と高い数字になっている。教職員からは、教室等の問題もあり難しい現状もあるが、個人差が広がってきているので、少人数指導の重要さを実感しているとの意見もある。今年度は、校内事情もあり推進できなかった部分もあるが、今後の対策をお願いしたい。また、病気休暇の職員が出るなか、自習にならないように取り組んだことは評価できる。
- ⑤全体としては、異学年交流やにぎなげ体操などの取り組みや、給食の工夫、教育相談日などは、保護者からの前向きな意見も多く評価できる。一方で古いトイレを改修してほしいとの意見が毎回出るので行政の対応をお願いしたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応について

- あいさつ強化月間や、なかよし学級でのあいさつ運動等を継続していくとともに、「(あいさつ)振り返りチェックシート」等を保護者会・学級懇談会などで紹介し、保護者・家庭との連携をより進める中で、子どもたちの意識の変容および意欲の向上を図ってまいります。
- グループ学習や発表活動など、学び合う学習、伝え合う学習の一層の充実を図るとともに、授業参観や学校公開での I C T 機器活用の機会を増やしてまいります。
- 少人数指導、小集団指導、チームティーチングなど指導形態の工夫・改善をさらに進めるとともに、授業参観等で公開を進める等、保護者・地域への情報発信も積極的に行ってまいります。
- トイレ清掃の方法等の改善を進めるとともに、関係部署への働きかけも継続的に行ってまいります。